

実証・事業化WG提案募集シート TYPE1(官→民)

自治体名	京都府
募集テーマ区分	1.観光 2.健康/医療 3.環境 4.交通/物流 5.農林 6.文化 7.教育 8.行政サービス 9.防災 10.感染症対策 11.その他(スマートシティ推進)
WG組成理由	Web3.0関連技術等(ブロックチェーン・メタバース・XR・AI・IoT等)を活用した社会課題の解決により、スマートシティ(京都府スマート社会推進計画)の実現を目指す。
解決したい課題 (WGで検討したいこと)	今年度解禁されたLLC型DAOや改正資金決済法による預金型ステーブルコインの発行等、益々発展が見込まれるWeb3.0関連技術等を活用した社会課題解決型の街づくりやビジネスモデル構築を目指す。本年度は、地域全体のDXに繋がるリーディングプロジェクト創出を目指し、以下の活動を予定。 - 勉強会・セミナー開催 - 進化の早いWeb3.0関連技術等のトレンドやスマートシティに関する技術活用等の知識醸成・普及を図る。 - 参加者間での課題共有を起点とした、官民連携等による事業ニーズのマッチングを図り、新規プロジェクト創出に繋げる。 - 分科会活動 - 資金調達方法・技術的アプローチ・法規制上の課題・マーケティング戦略等について検討の上、新規プロジェクトの実現を図る。
WG活動希望期間 /スケジュール (半年～最長1年)	10ヶ月(2024年6月～2025年3月) - 勉強会・セミナー開催(期間中に3～4回の開催を予定) - 分科会活動(コミュニケーションツールの使用等により随時。必要に応じて対面形式でのディスカッションを実施)

ワーキンググループ概要

本ワーキングはWeb3.0関連技術等(ブロックチェーン・メタバース・XR・AI・IoT等)を活用した社会課題の解決により、スマートシティ(京都府スマート社会推進計画)の実現を目指します。

Web3.0関連技術等



An aerial view of a city skyline, likely Kyoto, with a network of white lines and dots overlaid, symbolizing smart city infrastructure. The text is centered over the image.

京都府スマート社会推進計画
京都府観光総合戦略等
の推進

Web3.0の現状と今後の予想

Web3.0関連技術は、「テクノロジー」「マーケット」「リーガル」のどの観点でも、今後の更なる活性化の期待大。

現状

テクノロジー

Web3.0関連技術も交えたX-Techが新たな価値創造の源泉に

- ブロックチェーンの技術も第4世代に入り、ブロックチェーン領域に閉じたものとしてではなく、メタバース・AI等の複数の技術領域を組み合わせた、ブロックチェーン・アズ・ア・サービス(BaaS)のようなクラウドサービス開発の加速化が予想される段階になっている

マーケット

様々な産業分野での活用範囲拡大

- 【教育分野】 大学での学修歴証明書をNFTで発行
- 【防災分野】 テレビ局が地上デジタル放送波とブロックチェーンの組み合わせによる防災用情報伝達手段を開発
- 【建築分野】 建設関連企業が技能労働者の負担をWeb3.0で解決することを目指すプロジェクトを立ち上げ

リーガル

市場活性化に追い風となる法整備が世界に先駆けて進行中

- 改正資金決済法の施行(2023年6月)により一部金融事業者による預金型ステーブルコインの発行等が今年度から始まっている
- DAOに法人格(合同会社)が付与され定款自治による組織運営が可能に(2024年4月)

今後

- X-Techによるサービス開発が様々な産業で加速
- 継続的な法整備による社会実装の促進

活動内容

本年度は「勉強会・セミナー開催」「分科会活動」を予定。活動状況を踏まえて開発・POC(実証実験)等に向けた準備に着手。

勉強会・セミナー開催(期間中3~4回開催を予定)

(テーマ例)

- 進化の早いWeb3.0関連技術等のトレンドやスマートシティの実現に関する技術活用等の知識醸成・普及を図る
- 府内自治体からの課題共有を起点とした、官民連携等による事業ニーズのマッチングを図り、新規プロジェクト創出に繋げる

分科会活動(コミュニケーションツールを使用して随時)

- 以下に例示するテーマについて検討の上、地域全体のDXに繋がる新規プロジェクト実現を目指す
 - 資金調達方法(各種競争資金、デジタル田園都市国家構想交付金等)
 - 技術的アプローチ
 - 法規制上の課題
 - マーケティング戦略 等

- 開発
- POC
- サービスリリース 等

2024年度(本年度)

2025年度以降

産学公の様々な関係団体のご参加を心よりお待ちしております。

企業等事業者

- 自治体の課題感(ニーズ)を把握したい
- 自社技術(Web3.0関連技術等)をPR/活用したい
- X-Techによる新たな価値創造に貢献したい
- 法整備面等も含めた情報収集がしたい

大学等研究機関

- 研究中の技術シーズを社会実装に活用したい
- 共同研究のパートナー企業を探したい

府内自治体等

- 社会課題を解決したい
- 政策立案に向けた情報収集がしたい
- スマートシティを推進するためのWeb3.0関連技術等の活用ポイントを把握したい
- Web3.0でしか出来ないことを把握したい



人的ネットワークの拡大

アライアンスの創出

住民のLTV向上に資する
スマートシティの実現